世田谷区上祖師谷地区

粕谷&上祖師谷

徳冨蘆花 没後90年(H29)/徳冨蘆花 生誕150年(H30)

今と昔

徳冨蘆花が暮らしていた頃

徳冨蘆花は、明治期のベストセラー作家です。
晩年、農業をしながら作家活動をするため、現在の蘆花恒春園がある場所に愛子夫人と移り住みました。その暮らしぶりや昔の上祖師谷地区の風景は、随筆集「みゝずのたはこと」の中に垣間見ることができます。

年表

- 1868年(明治元年) 現在の熊本県で誕生
- 1900年(明治33年) 長編小説「不如帰(ホトトギス)」刊行 ベストセラーとなる
- 1904年(明治34年)-1905年(明治35年) 日露戦争
- 1906年(明治39年) トルストイ(ロシアの文豪)訪問の旅
- 1907年(明治40年)トルストイの勧めで「晴耕雨読(せいこううどく)」の生活をはじめるため 現在の蘆花恒春園の地へ転居
- 1913年(大正2年) 随筆集「みゝずのたはこと」刊行
- 1927年(昭和2年) 徳冨蘆花 没
- 1938年(昭和13年) 武蔵野の面影を残す「蘆花恒春園」として開園
- 1958年(昭和33年) 芦花中学校開校
- 1959年(昭和34年) 芦花小学校開校
- 1977年(昭和52年) 上祖師谷中学校開校
- 2017年(平成29年) 徳冨蘆花 没後90年
- 2018年(平成30年) 徳冨蘆花 生誕150年

上祖師谷まちづくりセンター
TEL 03-3305-8611 FAX 03-5384-7196

発行:令和2年3月

徳冨蘆花
「みゝずのたはこと 村の一年」より

出典「みゝずのたはこと」(公益財団法人 東京都公園協会)

私がいた頃、まわりには一面、田んぼが広がっていたんだ。
私の家は茅葺きの家で、現在「蘆花恒春園」で見ることができるよ。私が生きた時代を感じられる貴重な建物なので、ぜひ一度見て欲しいな。